

平成28年度北海道大学大学院

文学研究科修士課程入学試験問題（後期）

試験区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般入試 <input checked="" type="checkbox"/> 外国人留学生特別入試 <input type="checkbox"/> 社会人特別入試
試験科目名	<input checked="" type="checkbox"/> 専門試験（ 中国文化論 ） <input type="checkbox"/> 共通外国語（ ）
出題の意図	<p>「選択A」は中国思想分野に関する問題である。「問題一」は研究に必要な中国思想、日本漢学に関する基礎知識を備えているかどうかを問うものである。また、「問題二」では漢文を訓読する力を、「問題三」では現代中国語の読解力および日本語の表現力をはかることを意図している。</p> <p>「選択B」は中国語学・中国文学分野に関する問題である。「問題一」は研究に必要な言語学、中国語学史、中国文学史に関する基礎知識を備えているかどうかを問うものである。また、「問題二」では広義の古漢語の読解力を、「問題三」では現代中国語の読解力および日本語の表現力をはかることを意図している。</p>

平成28年度
北海道大学大学院文学研究科修士課程入学試験問題（後期）
（専門試験） 中国文化論 全6枚のうち1枚目

この試験では、試験問題 6枚、解答用紙 3枚を配付する。

主として中国思想分野の修学を希望する者は【選択A】（1枚目～3枚目）を、
主として中国語学文学分野の修学を希望する者は【選択B】（4枚目～6枚目）を、
解答すること。

【選択A】

（解答は、問題一、二、三についてそれぞれ別の解答用紙を用いること。）

問題一 次の中から五項目を選び説明せよ。

『戦国縦横家書』	三禮
『孔子家語』	王龍溪
『明儒學案』	藤原惺窩
熊澤蕃山	目録學

問題二 次の文章をすべて書き下せ。

漢五年、已并天下、諸侯共尊漢王爲皇帝於定陶、叔孫通就其儀號。高帝悉去秦苛儀法、爲簡易。群臣飲酒爭功、醉或妄呼、拔劍擊柱、高帝患之。叔孫通知上益厭之也、說上曰、「夫儒者難與進取、可與守成。臣願徵魯諸生、與臣弟子共起朝儀」。高帝曰、「得無難乎」。叔孫通曰、「五帝異樂、三王不同禮。禮者、因時世人情爲之節文者也。故夏殷周之禮所因損益可知者、謂不相復也。臣願頗采古禮與秦儀雜就之」。上曰、「可試爲之、令易知、度吾所能行爲之」。

〔史記〕叔孫通傳

問題三 次の文章をすべて日本語に訳せ。

*** 問題本文は著作権法上の理由からこのホームページに掲載することはできませんので、下記の出典箇所を参照するか、文学研究科教務担当の窓口で閲覧してください。**

出典 劉勇『中晚明士人的講学活動与学派建構』, 90～91頁, 商務印書館, 2015年8月

【選択B】

（問題用紙は3枚である。解答は、問題一、二、三についてそれぞれ別の解答用紙を用いること。）

問題一 中国語学を専攻する者は、A群から3項目、B群から1項目を、
中国文学を専攻する者は、A群から1項目、B群から3項目を選択し、
説明せよ。

- A群**
- ・比較言語学
 - ・テンス
 - ・贛方言
 - ・三等韻
 - ・四呼
 - ・諧声系列
 - ・籀文
 - ・朱德熙

- B群**
- ・詩余
 - ・王国維
 - ・楊家将
 - ・擬話本
 - ・巫鴻
 - ・目連戲
 - ・鬼狐伝
 - ・自由談

問題二 次の文をすべて日本語に訳せ。

婺源江秀才號慎修名永能製奇器取猪尿胞置黃豆以氣吹滿而縛其口
豆浮正中益信地如雞子黃之說有願爲弟子者便令先對此胞坐視七日
不厭不倦方可教也家中耕田悉用木牛行城外騎一木驢不食不鳴人以
爲妖笑曰此武侯成法不過中用機關耳非妖也置一竹筒中用玻璃爲蓋
有鑰開之開則向筒說數千言言畢即閉傳千里內人開筒側耳其音宛在
如面談也過千里則音漸漸散不全矣忽一日自投於水鄉人驚救之半溺
而起大恨曰吾今而知數之難逃也吾二子外游於楚今日未時三刻理應
同溺洞庭吾欲以老身代之今諸公救我必無人救二子矣不半月凶問果
至此其弟子戴震爲余言

袁枚『子不語』卷13「江秀才寄話」

問題三 次の文をすべて日本語に訳せ。

***問題本文は著作権法上の理由からこのホームページに掲載することはできませんので、下記の出典箇所を参照するか、文学研究科教務担当の窓口で閲覧してください。**

出典：赵元任《汉语语法与逻辑杂谈》，赵元任著、吴宗济・赵新那编《赵元任语言学论文集》，796
頁，商务印书馆，2002年1月